施設案内図

梅小路公園には、中心施設である庭園「朱雀の庭」やビオトープ「いのちの森」、大型遊具のある「すざくゆめ広場」や「市電ひろば」、「河原遊び場」、「芝生広場」があります。また、公園の西側には花木の美しい「緑道」があり、「七条入口広場」や園内各所の花壇では、季節ごとに色とりどりの花が咲き乱れます。

総合案内所

市電車両を活用し、公園内の施設、イベントや周辺施設をご案内します。

「朱雀の庭」と一体化した建物で、1階にレストランとイベント室、2階に茶室・和室があります。各部屋からは、朱雀の庭を見渡すことができます。

イベント室、茶室（2室）、和室はお茶会や講演会などにご利用いただけます（有料※利用料金は、裏表紙をご覧ください）。また、花とみどりの相談所（水・土曜日のみ）、京都市緑のボランティアセンター受付を併設しています。

※緑の館（レストランを除く）の休館日月曜日（祝日の場合その翌日）及び年末年始。

野外ステージ

下京区誕生130周年を記念して設けられた文化芸術活動の場です。事前申込みによる利用が無い場合は、休憩場所として利用できます。

芝生広場

広々とくつろげる緑の芝生を敷き詰めた面積2.5ヘクタールの広場。花や木に囲まれた広場で家族や友達と憩いのひとときを過ごせます。南側には、花、緑、水で演出された散策路もあります。

2F：緑化協会 梅小路公園管理事務所

（月曜日（祝日の場合その翌日）及び年末年始を除く8:30～17:15）

チンチン電車

明治28年から京都の町を走り、市民に愛されていた市電。リチウムイオン電池を動力源として、改造されたレトロな車両が広場を走行しています〈土・日・祝日・夏休み期間（月曜日を除く）に運行〉。

すざくゆめ広場

長さ14mの滑り台や高さ6mのロープ型ジャングルジムなど、子どもたちのワクワク感を高める市内最大規模の大型遊具があります。他にもオープンテラスのあるカフェや、明治後期の市電（広軌1型）を当時の姿に復元展示した市電展示室、チンチン電車の駅舎があります。また、毎月第2・第4土曜日には、「遊びのリーダー」と一緒にいろんな遊びが体験できる「梅小路プレイパーク」を開催しています。

朱雀の庭・いのちの森

朱雀の庭

京都の作庭技術・技法の粋を結集し、平成の時代にふさわしい空間づくりをめざした池泉回遊式庭園です。京都の風景を縮景的に表わしており、紅葉渓・水鏡・アカマツ林・野筋・大滝などの見どころがあります。季節ごとに咲く花々や、この庭を会場に開催される「和の花展」や「紅葉まつり」等の行事も彩りを加えています。

いのちの森

様々な生き物が育つよう、森や草地、池や流れが造成された「ビオトープ」です。生き物を高い位置から観察できる「樹冠回廊（歩行デッキ）」など、普段と違った視点から森を見ることができます。毎月第3土曜日には、植物や鳥、昆虫やきのこを観察する自然観察会が開催されています。

市電ひろば

大正・昭和に製造された市電車両（4両）とプラットホームがあり、京都に市電が走行していた昔懐かしい風景を演出しています。市電車両は内部が休憩所や店舗（カフェ、ショップ）として活用されています。

河原遊び場

春から秋にかけて新緑や紅葉も楽しめる“せせらぎと木漏れ日”の水辺広場です。夏場は子どもたちが水遊びを楽しみます。

梅林

下京区誕生120周年を記念して2000年に植林されました。様々な品種の紅白の梅が約140本植えられています。梅の通り抜けを楽しめる散策路もあります。